

イラストを使った避難所配置ゲーム

消防長官賞 (防災まちづくり大賞：平成26年度)

1. 目的

自分の学校が避難所になったことを想定し、受付、救援物資置場等の配置、高齢者・障害者等、特別に配慮を要する人の配置、求められる対応事例を協議するなど、考え判断するためのゲーム

2. 実施時間:グループワーク

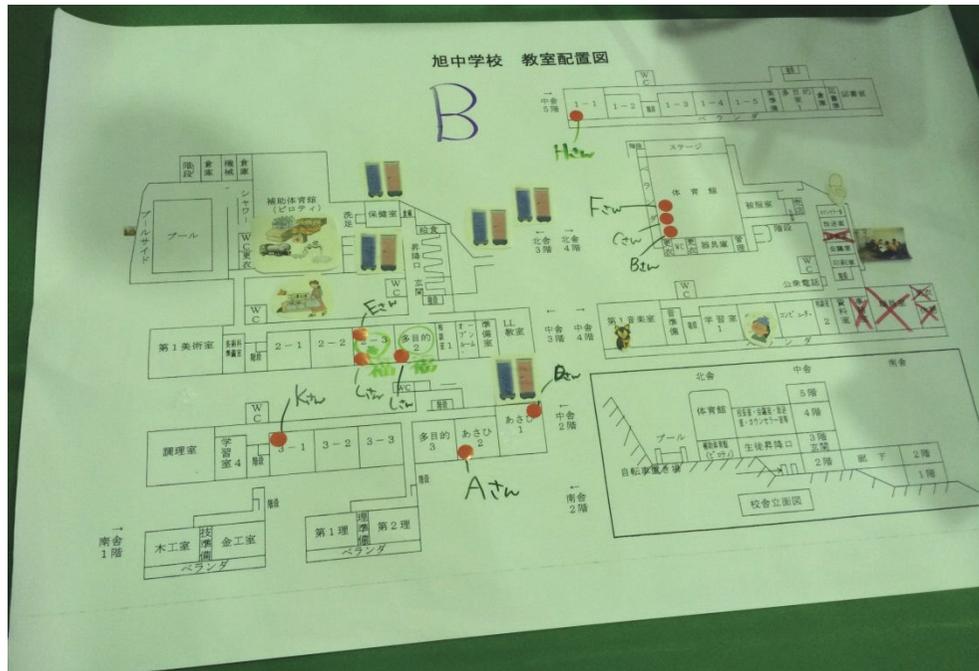
3. 場 所:津波避難センター(屋内)

4. 内容:避難所の配置と対応を学ぶ

- ・通路確保・受付・掲示板等の配置
- ・要配慮者の配置を考える
- ・対応事例表での対応を協議



地域の学校の見取り図使用でイメージしやすく、
子どもが大人に教室の配置を説明できると好評！



様々な障害など要配慮者に特化したカードが多いので防災と同時に福祉教育も学べる！

- A:視覚障害、盲導犬
- B:歩行不自由者
- C:車いす利用者
- D:認知症の高齢者
- E:妊娠6ヶ月の女性
- F:聴覚障害者
- G:夜泣きがひどい
- H:うつ病患者



- ・高知県人権啓発センターの「災害と人権」教材に採用
- ・高知県防災士養成講座でも活用